

高齢者のやすらぎの家 やまね

だより 37号

発行者 ボランティアグループ なの花
会長 森田 元治
発行所 792-0834 新居浜市中西町 16-20
「やまね」 Tel 0897 41-0104
発行日 2012. 4. 20



やまね 7周年イベント

3月31日 やまねの7周年記念イベントが、角野公民館長の稲見さん・社協角野支部長の藤田さんをお迎えし、開催しました。小さい子どもから高齢者まで約40名の参加をいただきました。

催しものは、まずオカリナ演奏に始まりました。このイベントのために急に結成したメンバー6人の自慢の音色が披露されました。アンコールも飛び出しました。

次に、のどに自慢のある方の音量のある民謡はとても聞き応えがありました。

やまね近くにお住まいの石井さんと友人の「またたびもの」や「女装の踊り子」の演技にはみんな見とれていました。大喝采を受けました。

トレモロさんの楽器演奏があり、唱歌・民謡を歌って楽しみました。

また子どもの「まるまるもりもり」の歌と踊りもありました。

社協角野支部長の藤田さんからは、別子鉱山の歴史や鉱山経営者の山を緑に還す取り組みの紙芝居を披露してもらいました。イベントに参加された方は、地元において初めて知った。大変良かった。などの声をいただきました。

みんなで「ぼけない小唄」を歌った後、恒例のビンゴゲームでイベントを締めくくりました。ご参加いただいたみなさんにお礼申し上げます。

総会を開きました

平成24年度の総会を4月14日(土)開催しました。

総会では、とくに高齢者の利用が年々少なくなっていることが取り上げられました。

そのため、単年度では収支が厳しくなっているため、その対策を考えることになりました。今後高齢者に限らず、趣味のサークルなどにもどんどん利用していただくことにします。

24年度の運営は、23年度と大きな変化はありません。

役員改選では、前年度と同じ方をお願いすることになりました。



総会の模様

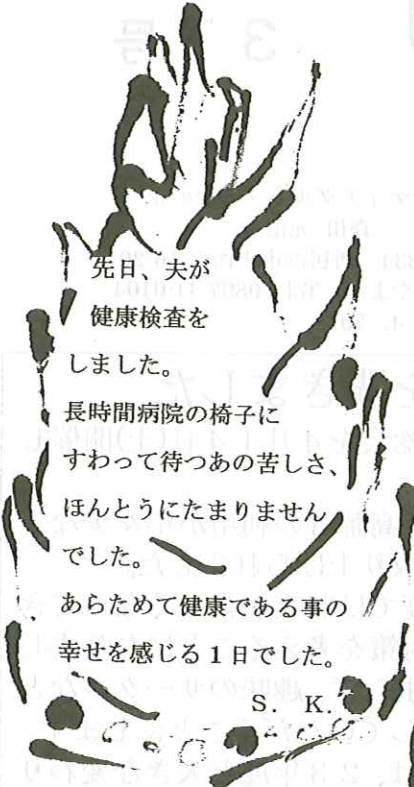
「やまね」は

高齢者が気軽に立ち寄ってお茶でも飲みながら世間話や五目並べをしたり、それに編み物や絵手紙などをしながら遊び心で過ごせる趣味の場です。

自分の思いを語れるサロンでもあります。ボランティアが常に居ます。いつでもご自由においでください。来たいときに来て、帰りたいときに帰っていただいています。利用料として300円を頂いております。

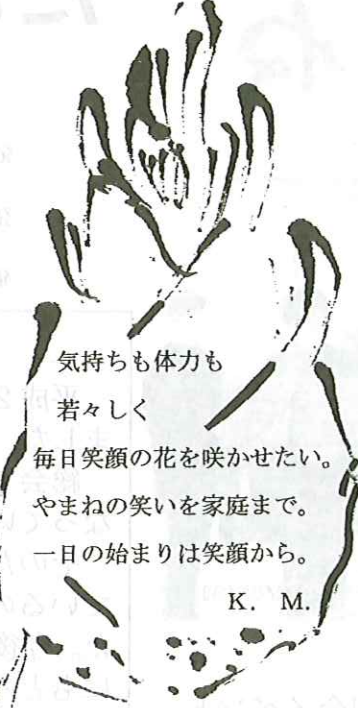
総会に参加した会員の声

筍のようにすくすくと



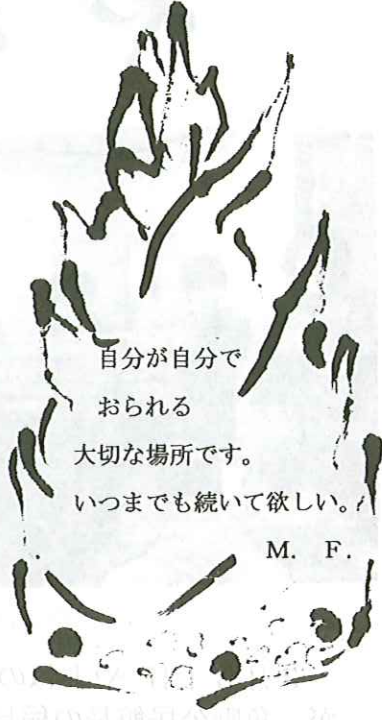
先日、夫が
健康検査を
しました。
長時間病院の椅子に
すわって待つあの苦しさ、
ほんとうにたまりません
でした。
あらためて健康である事の
幸せを感じる1日でした。

S. K.



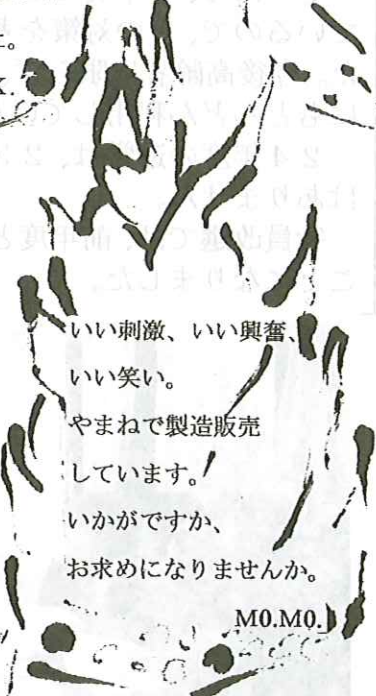
気持ちも体力も
若々しく
毎日笑顔の花を咲かせたい。
やまねの笑いを家庭まで。
一日の始まりは笑顔から。

K. M.



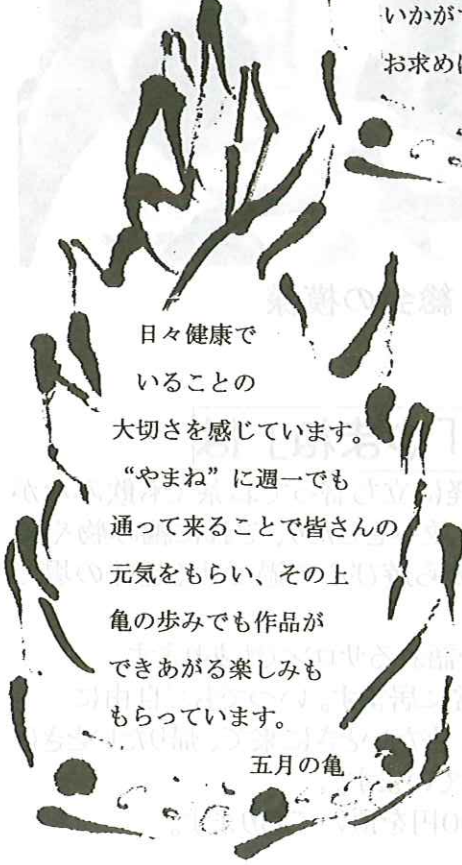
自分が自分で
おられる
大切な場所です。
いつまでも続いて欲しい。

M. F.



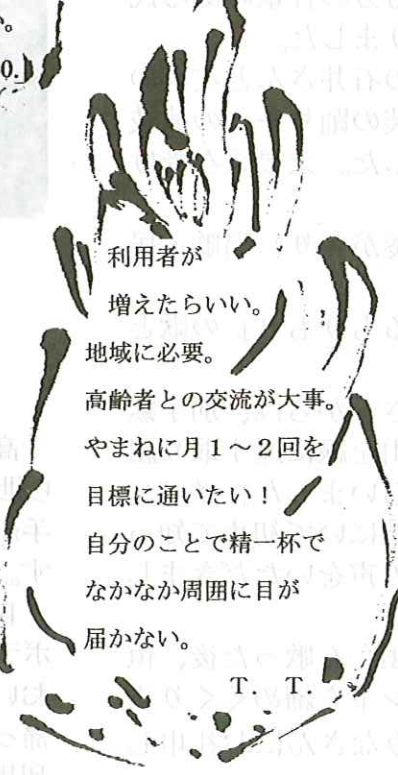
いい刺激、いい興奮、
いい笑い。
やまねで製造販売
しています。
いかがですか、
お求めになりませんか。

M.O.M.O.



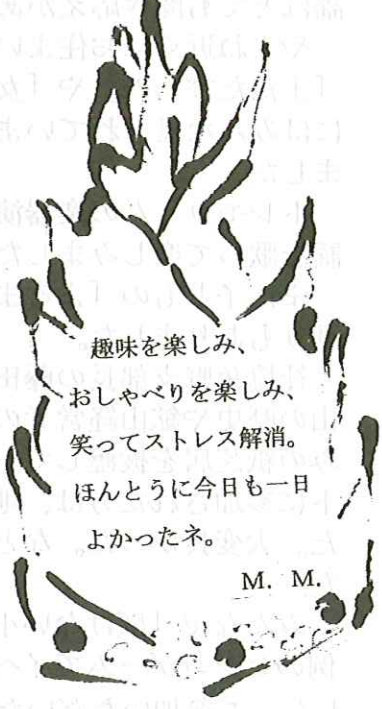
日々健康で
いることの
大切さを感じています。
“やまね”に週一でも
通って来ることで皆さんの
元気ももらい、その上
亀の歩みでも作品が
できあがる楽しみも
もらっています。

五月の亀



利用者が
増えたらいい。
地域に必要。
高齢者との交流が大事。
やまねに月1~2回を
目標に通いたい！
自分のことで精一杯で
なかなか周囲に目が
届かない。

T. T.



趣味を楽しみ、
おしゃべりを楽しみ、
笑ってストレス解消。
ほんとうに今日も一日
よかったネ。

M. M.